

第5回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議 議事録

■日時：平成29年12月27日（水）15：20～15：25

■場所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、第5回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議を開催します。

早速、報告事項「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設」について、文化スポーツ局長。

【文化スポーツ局長】

アーカイブ拠点施設について、設計が一定程度進みましたので、建屋と展示のイメージ図をお示しできるようになりました。本日はその御報告をさせていただきます。

資料の1ページを御覧ください。建築計画の概要を表にまとめております。

整備場所は「双葉町中野地内」、建屋は地上2階建てで、延べ床面積は約5,200㎡となっております。

右下が配置図となります。建屋東側のアーカイブ広場に加え、敷地内の東西にアクティビティパスとして来館者が行き来できる歩道を設け、アーカイブ拠点施設から復興祈念公園までの一体感を持った連続した空間として連携を図りやすくしております。

2ページを御覧ください。敷地の南東側から見た外観のイメージ図です。

双葉町産業交流センター、復興祈念公園へと開かれた施設とするため、建屋の東面については、緩やかな曲線と大きなガラス面を持った象徴的なデザインとしています。

3ページを御覧ください。

展示につきましては上半分の展示ストーリーに沿って展開いたします。

下半分が施設の平面図です。

左側の1階平面図を御覧ください。図の左側からの赤い矢印のとおり、施設に入館し、始めにプロローグの導入シアターを御覧いただきながら、緩やかなスロープを通過して2階の展示室へとアプローチします。

右側の平面図が2階部分となります。

主な展示室、貴重な資料を収蔵する収蔵庫は、津波等に備え2階に配置する設計としております。

4ページを御覧ください。展示室の全体を上から見たイメージ図となっております。

展示室の右側には、「企業ブース・企画展示スペース」を設けまして、来館者に興味をもっていただけるような様々な企画展示を展開していきます。

5 ページを御覧ください。各ゾーンの展示計画をお示ししております。

プロログとしての導入シアターは、展示全体のガイダンスとしての役割を持たせ、立体的にスクリーンを配置し、展示ストーリーに入り込みやすくします。

次の「災害の始まり」と「原子力災害の影響と対応（初期）」については、災害以前の地域の様子や、未曾有の複合災害の発生とその後の対応に関する資料を展示することとしています。

6 ページを御覧ください。

4 と 5 の展示におきましては、県民の想いとしての証言や記録資料、原子力災害が長期化する中での様々な対応などを展示してまいります。

6 の「復興への挑戦」では、復興に向けた県民の皆様の取組や福島イノベーション・コースト構想等について紹介いたします。

これらの展示につきましては、福島県は現在も復興の途上であることから、その状況に合わせて最新の情報を伝えていけるよう、フレキシブルに展開をしてまいります。

建屋と展示の概要を御覧いただきましたが、アーカイブ拠点施設が、複合災害の記録と教訓を伝えるという目的を果たすとともに、県内の各地域や施設をつなぐ起点となるよう、今後も国や地元自治体、関係機関等と連携しながら、2020年度のオープンを目指し、着実に整備を進めてまいります。

説明は以上です。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。

なければ、知事からお願いいたします。

【内堀知事】

アーカイブ拠点施設については、世界に類のない複合災害の記録と教訓を広く発信し、次の世代へと伝えていく重要な役割があります。

双葉町産業交流センターや隣接する復興祈念公園とともに、効果的な発信ができるよう、市町村や関係機関と連携をして、着実に整備を進めてください。

【鈴木副知事】

以上で本部会議を閉じます。